

観光振興の新たな方針について

1 台東区の観光復活に向けた方針（現行）の達成状況

（１）観光客の意識

目標指標	平成 30 年	目標 (令和5年)	令和5年	令和7年
① 台東区を訪れて満足した観光客の割合	99.5%	維持・向上	99.6%	99.3%
② 台東区を再び訪れたいと思う観光客の割合	97.8%	維持・向上	99.0%	98.5%

※「台東区観光統計」より

（２）区民の意識

目標指標	令和 3 年度	目標 (令和 5 年度)	令和 5 年度	令和 7 年度
① 観光客が増えることに対して好意的な区民の割合	85.5%	向上	84.3%	70.2%
② 台東区を魅力ある観光地として紹介できると思う区民の割合	80.2%	向上	85.4%	81.9%
③ 観光基盤を整備することが区民生活の向上に寄与すると思う区民の割合	91.9%	向上	90.8%	87.1%

※「台東区民の意識調査」より

（３）観光統計指標

目標指標	令和 2 年	目標 (令和 5 年)	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
① 年間観光客数	1,631 万人	回復	3,862 万人	4,121 万人	4,287 万人
② 年間観光消費額 (推計)	1,263 億円	回復・増加	3,412 億円	4,058 億円	5,249 億円
③ 年間宿泊観光客数 (延べ)	223 万人	回復	487 万人	531 万人	563 万人

※「台東区観光統計」より

2 観光振興の新たな方針の策定

(1) 趣旨

観光客が急激に回復する一方で、集中する地域や時間帯によっては、過度な混雑やマナー違反など、さまざまな課題が生じている。

こうした課題への対応に加え、区民生活と調和した観光のさらなる振興を目的として、区民・事業者・来訪者が共に意識して取り組むための方針として、「(仮称)台東区観光振興ビジョン(以下、「ビジョン」という。))」を策定する。

(2) 関連計画の位置づけ

本ビジョンは「台東区基本構想」、「台東区長期総合計画」等を踏まえたものであり、区の実施計画については、関連する個別計画や国・東京都の政策とも適切に連携を図りながら推進していく。

(3) 期間

令和9年度から令和12年度までの4年間を目途とする。ただし、外部環境に大きな変化が生じた場合には、必要に応じて見直しを行う。

3 検討体制・検討状況

(1) 検討体制

新たなビジョンの策定にあたり、庁内検討会において、他分野との整合を図っている。

また、学識経験者、観光団体、国・都の関係機関の代表者等で構成する「台東区観光振興推進会議(以下「推進会議」という。))」において、検討・審議を行っている。

さらに、観光に関連する事業者へのアンケートを実施するとともに、観光関連団体の若手などを対象とした意見聴取会を通じて、観光振興に関するテーマについて様々な観点から意見を聴取する。

(2) 検討経過

令和7年度 区民・事業者を対象とした方針策定のための実態調査(アンケート、ヒアリング調査)

令和8年4月 第1回庁内検討会、第1回推進会議(課題の整理、方針策定の概要について)

7月 第2回庁内検討会、第2回推進会議(骨子案について)

4 骨子案について

ビジョンが目指す考え方と、その先に描く台東区の姿を下記のように設定する。

(1) 理念

「台東区の発展に貢献する観光の実現」

(2) 将来像（目標とする姿）

「区民・事業者・来訪者が調和し、地域の営みが次世代へ受け継がれるまち」

(3) 基本方針

下表のとおり、3本の柱と6つの基本方針を定める。ビジョンにおいては、基本方針1及び基本方針3を重点として定め、区民が観光の恩恵を実感できる状態を最優先とする。

柱Ⅰ 生活環境との調和	
	【重点】 基本方針1：安全・安心・快適な暮らしと観光の調和を図る
	基本方針2：地域の受入環境に応じた広域的な周遊を促す
柱Ⅱ 価値の創造・向上と恩恵の波及	
	【重点】 基本方針3：観光の恩恵を地域へ波及させる
	基本方針4：学びと出会いの価値を高める
柱Ⅲ 継承と推進の基盤	
	基本方針5：地域の歴史や文化を次世代へ継承する環境を整える
	基本方針6：戦略的視点で観光をマネジメントする

5 今後の予定

令和8年10月下旬	第3回 観光振興推進会議
第4回定例会	文化・観光特別委員会（中間のまとめ案）
12月	パブリックコメント実施
令和9年1月下旬	第4回 観光振興推進会議
第1回定例会	文化・観光特別委員会（最終案）
3月	ビジョン策定